



イラスト

つくって
みよう!

簡単自動車

コピーして
組み立ててね



製 冊 0202 ㊄

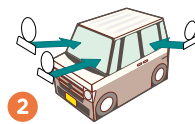
やまおり
たにおり
のりしろ

※小さなお子様ははさみを使う場合は、
必ず保護者が一緒にいるときにしましょう

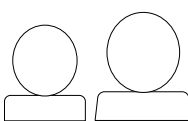
組み立て方



1
のりしろの番号順にボンド
で貼ってください。



2
似顔絵イラストやお写真をお好みで貼ってください。



似顔絵
イラスト
お写真

地道な作業を繰り返し
細部に至るまで再現する

ペーパークラフトをつくるために

現在までに時里さんが設計した展開図は約150種。恐竜を含む動物のほか、企業の製品や自治体のマスコットキャラクターなど、幅広い作品をつくり続けています。

注目とともに、作品のスケールも大きくなります。2014年に東京・上野駅で北陸新幹線のPR役を務めた恐竜はプラノドン(翼幅が約4m、そのほかの恐竜は約3m。2018年に越前市の武生公会堂記念館で開催された企画展「越前和紙ペーパークラフトでつくる世界の生き物展」の目玉作品であるキリンは高さ約3m。同企画展では、越前和紙でつくったほかの作品およそ300点とともにさまざまな生き物の大きな営みを表現し、来館者に大きなインパクトを与えました。

必要な道具は、紙とハサミ、セロテープや糊など。特別なものが無い代わりに、「これから展開図を設計するにはインスピレーションが大切」と、時里さんは話します。「最初に、組み立てているときのイメージが頭に浮かんでくるのです。これはもう、天から降りてくるんじゃないかな?」

近年、時里さんの作品はウェブを通して海外でも知られるようになりました。今後は本格的な海外展開を模索するとともに、500〜600個のパーツでつくる飛行機や船といった大型展開図の制作や、マンガやアニメのような世界観とストーリー性をもったジオラマへの挑戦を目標に掲げます。

「ペーパークラフトは、2次元の紙から3次元のものをくり出すアートです。展開図があれば、子どもから大人まで誰でも組み立てられるところも、ペーパークラフトならではの魅力だと思います」と時里さん。ぜひ、皆さんも自分で組み立ててみて、一枚の紙が3次元の立体物になっていくおもしろさを体験してみてください。



内藤さんと共同開発した巨大なペーパークラフト。大小さまざまな作品をジオラマのように展示し、恐竜の世界観を表現しています

巻頭特集

ペーパークラフトデザイナー 時里 嶺さん

一枚の紙で、立体的な世界を

2次元の展開図で3次元の作品をつくり出すペーパークラフト。

ペーパークラフトデザイナーの時里嶺さんは、福井の伝統工芸である

越前和紙を使い、恐竜や動物などの展開図を設計しています。

細部まで緻密につくられた時里さんの作品は、子どもはもちろん、大人も熱中すると評判です。



金魚の展開図と、それを組み立てたもの。後ろや裏側はどのような形になっているのか、想像力を働かせて組み立てます

越前和紙を使った作品は、それぞれの動物に合わせて細かく凹凸をつけ、リアルな体格などを再現しています



越前和紙の恐竜シリーズなど約150種の作品を制作

紙を使って立体物をつくり出すペーパークラフト。敦賀市在住の時里嶺さんは、ペーパークラフトの展開図を設計するデザイナーとして、県内外で幅広く活躍しています。子どものころから、雑誌の付録についている紙模型を組み立てるのが大好きだった時里さん。製造メーカーの製品設計(デザイン)を経て独立し、2000年から独学でペーパークラフトデザイナーとしての活動を開始しました。そして2005年に福井市で文具店を営むペーパークラフトモデラー、「こじら工房」の内藤秀信さんと出会い、大きな転機を迎えます。